

日本におけるデジタル化の状況

千野 琉斗

2025 年 7 月 7 日

1 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [1] によると、日本のデジタル競争力のランキングは図 1 に示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、技術分野で 30 位となっている。

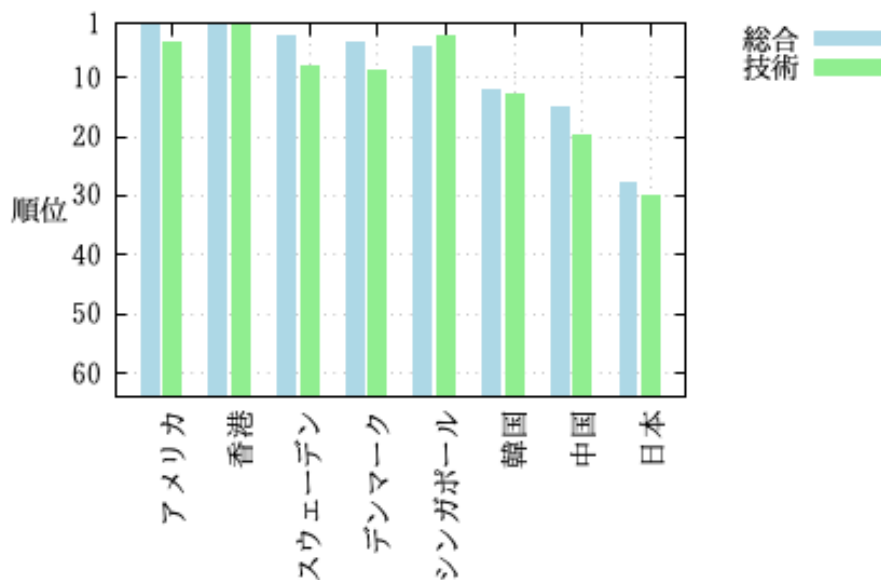


図 1: 情報通信機器の世帯保有率

2 ブロードバンド整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [2] によると、表 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

表 1: : モバイルブロードバンドの加入者数 (100 人あたり)

順位	国名	加入者数
1 位	日本	190.5
2 位	エストニア	179.9
3 位	米国	169.0
4 位	フィンランド	157.0
5 位	デンマーク	141.7
6 位	ラトビア	141.6
7 位	イスラエル	139.9
8 位	オランダ	133.7
9 位	ポーランド	131.3
10 位	スウェーデン	127.2

3 考察

- 日本はハード面では優れているが、ソフト面で他国より劣っているのが競争力の低さの原因だと感じた。
- 世界のデジタル化のスピードに遅れないよう、継続的な政策と社会全体の意識改革が必要である。

参考文献

- [1] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.
- [2] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.